

最終報告書

# 令和 2 年度 COVID-19 によるグローバル・フードバリューチェーンへの 影響分析調査業務（東南アジア・南アジア等）

ベトナム

---

株式会社野村総合研究所

コンサルティング事業本部 ICTメディア・サービスコンサルティング部

2021年3月18日

**NRI**

*Share the Next Values!*



# 本事業の背景と目的

## ■ 背景

- 日本国内の食市場は人口減少と高齢化に伴い縮小していくことが予想される中、世界の飲食市場の規模は890 兆円（2015 年）から1,360 兆円（2030 年）に約1.5倍に成長すると予測（農林水産政策研究所推計）されており、我が国の食産業が継続的に発展していくためには、国内需要だけでなく海外需要を獲得していくことが必要となってきた。
- このため、農林水産省では、海外展開に取り組む企業・団体等からなる「グローバル・フードバリューチェーン（以下GFVC）推進官民協議会」を平成26 年 6 月に設置。更に、食産業の海外展開をより一層戦略的に推進するため、令和元年12 月に今後 5 年間の取組方針である「GFVC 構築推進プラン」を策定し、①各国・地域ごとの企業進出等を踏まえた企業支援の重点化、②複数企業が連携した海外展開の推進（企業コンソーシアム形成）、③地方企業の進出促進、④輸出と投資の一体的促進、⑤スマート農業技術の海外展開を推進していくこととした。
- このような中、今般のCOVID-19 の世界的な感染拡大により人やモノの移動が大きく制限された。世界的に経済活動が停滞し、東南アジア、南アジアの各国のFVCも大きな影響を受け混乱が生じている。特に、ASEAN諸国の中でも日本企業の進出が著しく増加し日本とのつながりが深化するタイとベトナム、及び13億人超と人口の多い農業大国であり今後日本にも影響を与える可能性が大きいインドの3か国にて発生したCOVID-19による変化、影響は注目すべき事項であり、本事業の調査対象としている。
- その一方、COVID-19 により顕在化した課題に対処するため、世界的なFVC の再構築が今後行われていくことが予想され、FVC 再構築の中で、他国企業に市場を占有される前に、FVC 再構築の中で、我が国の技術・ノウハウの導入を推進し食産業の海外展開を維持・拡大していくことが重要である。

## ■ 目的と実施事項

- フードバリューチェーン（以下FVC）再構築における日系企業の海外展開を推進する施策のための検討材料を提供することを目的として実施した。
  - 本事業では東南アジア、南アジアの実態調査を行った。
- COVID-19の影響を踏まえたフードバリューチェーン（以下FVC)の変化に着目し、調査対象国におけるCOVID-19を受けた将来動向の見通しの変化、課題、改善に向けた様々な施策・取り組みに関する定量的なデータや事例を幅広く収集した。

# 本書の構成および報告内容

| 章立て                              | アプローチ                                                                                                                                                                          | 報告内容                                                 |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1. はじめに                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本調査のねらい、対象国を記載</li> </ul>                                                                                                             | -                                                    |
| 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ COVID-19を受けた現地の食市場の動向および今後の見通しを整理・分析</li> <li>■ 現地政府機関やシンクタンク等が公表している各種定量データや将来予測データと共に、各種レポート・現地報道資料を収集・整理</li> </ul>                | 生産量/消費量/輸出入量の推移とCOVIDの影響を把握し、影響があった品目を特定             |
| 3. COVID-19 により顕在化したFVCの課題       | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 調査対象国でCOVID-19により発生した課題や変化の具体的な事例を整理・分析</li> <li>■ 分析は、現地報道情報、政府公表資料、現地企業や生産団体発表資料等の文献調査、並びに関連団体からのヒアリング調査を通じて実施</li> </ul>           | 生産局面で農家の財務状況悪化を、運送、加工、流通局面で調達・加工の遅延を把握               |
| 4. 現地FVC 再構築に向けた動向               | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3章で収集した課題・変化に対して、現地企業や政府機関などがどのような対策を講じているかを整理・分析</li> <li>■ 分析は、現地報道情報、政府公表資料、現地企業や生産団体発表資料等の文献調査、並びに関連団体からのヒアリング調査を通じて実施</li> </ul> | 生産、加工局面で農家や、中小企業向け金融支援、保管&運送、流通局面でインフラ投資やデジタル化を把握    |
| 5. 日本が貢献できる領域仮説                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2~4を通じて得た分析結果から、現地において日系企業が貢献しうと考えられる領域を導出して例示</li> </ul>                                                                             | 日本の生産、加工、保管&運送、流通局面で計12個の案を提案                        |
| 6. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告       | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日系企業が対象国での食産業の事業展開を検討する機会とすることを目的に開催したTV 会議（ウェビナー）を実施</li> <li>■ TV会議には現地企業・政府機関、日系企業が参加を呼びかけ。現地と日本企業のビジネスマッチングも併せて実施</li> </ul>      | 日越計104団体がTV会議へ参加。併せて両国間の企業マッチングを実施                   |
| 7. 事業構想案                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2~6を通じて得た分析結果から、現地において日系企業が貢献しうと考えられる領域を導出し、事業構想案として例示</li> </ul>                                                                     | 日本企業とのマッチングを希望した非乳製品加工メーカーをピックアップ、現地企業を起点とした事業構想案を作成 |

# 記載内容の例

## 章立て

2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

3. COVID-19 により顕在化したFVCの課題

4. 現地FVC 再構築に向けた動向

5. 日本が貢献できる領域仮説

6. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告

7. 事業構想案

## 南アジアの記載内容例

- グジャラート州ではエビの稚魚の輸入が止まり、来期の生産量が減少する見込み
- 有機食品がウイルスへの免疫力を高めるという評判から消費が増加。某店舗は売上100%増

- 出稼ぎ労働者の帰郷で輸送・加工が遅延し、食品ロス、在庫不足が発生
- 安全安心意識の高まりで実店舗利用が減少し、ECやデリバリー利用が加速

- 農業資材入手困難や農家の財務状況悪化に対する金融支援を実施
- コールドチェーンインフラや食品加工への投資
- EC分野の企業間連携やデジタル化が進行

- 長期的視点から物流インフラ整備やデジタル化への投資を行うことが効果的
- コールドチェーンインフラ、消毒・殺菌加工技術、AI等を使用した農業や検査の高度化などを紹介

- 現地の肥料・農業生産企業とコールドチェーン企業より現地FVCの現状についてスピーチを実施
- FVCのリアルタイム性確保のためのインフラ整備、包装など加工工程の自動化、衛生管理技術へのニーズを確認

- 食品加工技術強化ニーズに応え、食品加工自動化技術を提供して受託・共同生産を実施
- 食の安全意識の高まりに応え、トレーサビリティと安全安心を確保した商品を現地販路へ提供

## 東南アジアの記載内容例

- ロックダウンや外国人観光客の減少により肉製品を中心に消費量が一時減少
- 一方で、安全・衛生管理の観点か加工／冷凍食品の需要が増加。特に水産加工品が好調

- 物流の混乱によりコンテナ・輸送機器・倉庫不足が深刻化。物流コスト上昇からFVC全体へ影響
- 加工食品の原材料調達が滞り、供給が遅延
- 一方で、ECを活用した直販や小売が活性化

- 政府は、COVID-19の影響を受けた農家・エビ農家・酪農家等向けに運転資金援助を実施
- 大手食品メーカー、小売大手を中心に物資支援、販路提供、消費促進キャンペーンなど実施

- 資材、保管＆運送では、輸入・輸送制限への強靱化やコールドチェーン強化。生産・加工、卸・小売・外食では、スマート農機や調達販売プラットフォーム、O2O、内食需要対応策等が挙げられた

- 日越計104団体の参加者を迎えてTV会議を開催。Q&AセッションではCOVID-19の影響への今後の見通しなど多くの質問を受ける。アンケート調査を併せて実施し、両国のビジネス機会を創出

- 第3国展開に向けた協業、事業の拡大を目指した商品の改良、または新商品の開発、製品の安心安全加工処理機器の更新、食品廃棄物の軽減技術に対する事業構想案を作成

# 目次

|                                      |    |                              |    |
|--------------------------------------|----|------------------------------|----|
| 1. はじめに                              | 06 | 4. 現地FVC再構築に向けた動向            | 40 |
| 2. COVID-19による食市場・物流への影響と今後の見通し      | 08 | 1. 感染状況と感染拡大防止策              | 41 |
| 1. COVID-19における農林水産物への影響サマリ          | 09 | 2. 政府による施策                   | 42 |
| 2. 主要な農産物の生産量                        | 10 | 3. 企業による施策                   | 44 |
| 3. 主要な農産物の消費量                        | 12 | 4. 第3国の企業、国際機関の対応策           | 48 |
| 4. 主要な農産物の輸入量                        | 13 | 5. ビジネス機会の方向性仮説              | 50 |
| 5. 主要な農産物の輸出量                        | 14 | 1. ベトナムにおける3つのKey Issues     | 51 |
| 6. 加工食品、冷凍食品、有機食品の生産量、消費量            | 15 | 2. 注力する課題分類「肉体改造と体質改善領域への投資」 | 52 |
| 7. 加工食品、冷凍食品の輸入量、輸出量                 | 16 | 3. 「肉体改造と体質改善」が求められる背景       | 54 |
| 8. 小売・レストランの店舗数、売上高                  | 17 | 4. 主要課題の対応方向性                | 56 |
| 9. 包装食品の販売チャネル割合、外食サービスの<br>利用チャネル割合 | 18 | 5. 投資が進む可能性のあるテーマ例           | 57 |
| 10. 消費者支出内訳、主要な消費者トレンド               | 19 | 6. 日本が貢献できる領域仮説              | 58 |
| 11. 所得別の消費者マインド                      | 20 | 1. 投資領域に対する日本のソリューション        | 59 |
| 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題            | 21 | 2. 具体的なソリューション例              | 61 |
| 1. ベトナムにおけるFVC上の課題サマリ                | 22 | 7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告   | 72 |
| 2. 農業資材                              | 23 | 1. TV会議概要                    | 73 |
| 3. 農業生産                              | 24 | 2. 現地企業・日本企業へのアンケート結果        | 77 |
| 4. 保管&運送                             | 27 | 3. マッチング基本方針                 | 81 |
| 5. 食品加工                              | 31 | 8. 事業構想案                     | 82 |
| 6. 卸・小売                              | 34 | 1. アンケート結果から見られる現地企業の課題・ニーズ  | 83 |
| 7. 消費                                | 37 | 2. 食品加工会社を起点とした事業構想案論        | 84 |

## ベトナム

1. はじめに
2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
3. COVID-19により顕在化したFVCの課題
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説
7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告
8. 事業構想案

## ベトナム

### 1. はじめに

2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
3. COVID-19により顕在化したFVCの課題
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説
7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告
8. 事業構想案

# 1. はじめに

## ■ 本調査のねらい

COVID-19の影響を受けている東南アジア（タイ、ベトナム）がFVC再構築を目指す中、我が国の技術・ノウハウを活用し現地で食産業の展開を維持・拡大することは現地国にとっても我が国の海外展開にとっても重要であると想定されます。この技術・ノウハウを活用した食産業の展開に資する施策を検討するため、現地でCOVIDによるFVCへの影響や見通し、FVC再構築に向けた動向を調査することを目的とします。

## ■ 調査対象国 ベトナム

## ベトナム

1. はじめに

2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

3. COVID-19により顕在化したFVCの課題

4. 現地FVC 再構築に向けた動向

5. ビジネス機会の方向性仮説

6. 日本が貢献できる領域仮説

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告

8. 事業構想案

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.1 COVID-19における農林水産物への影響サマリ

農作物の生産量は、COVID-19の影響に加え大規模洪水の影響もあり減少。主要貿易相手国である中国との一時的な国境閉鎖により輸出入量が減少するが、エビ養殖を軸に輸出は好転する

### 生産量：

#### 生産量の減少 ↓

- COVID-19の影響下において、一時は生産減少するも、農業部門は前年比を上回る年間成長率を達成
- 一方で、ベトナム中部の大規模洪水の影響により農作物は壊滅、農家にさらに打撃を与え復旧困難な状況へ

### 輸入量：

#### 輸入量の鈍化 ↓

- 農作物用原材料約30%を中国からの輸入に頼っていたが、サプライチェーン遮断により、原材料の調達が困難
- タイなどの近隣諸国からの輸入量も減少

### 消費量：

#### 国産品消費の増加、価格高騰化 ↑

- 国民の食への安全性意識から国産品（豚肉など）志向傾向が顕著に。国産品価格が一時高騰
- 果物等の輸入食品への消費量減。一方で輸送費高騰により取引価格上昇

### 輸出量：

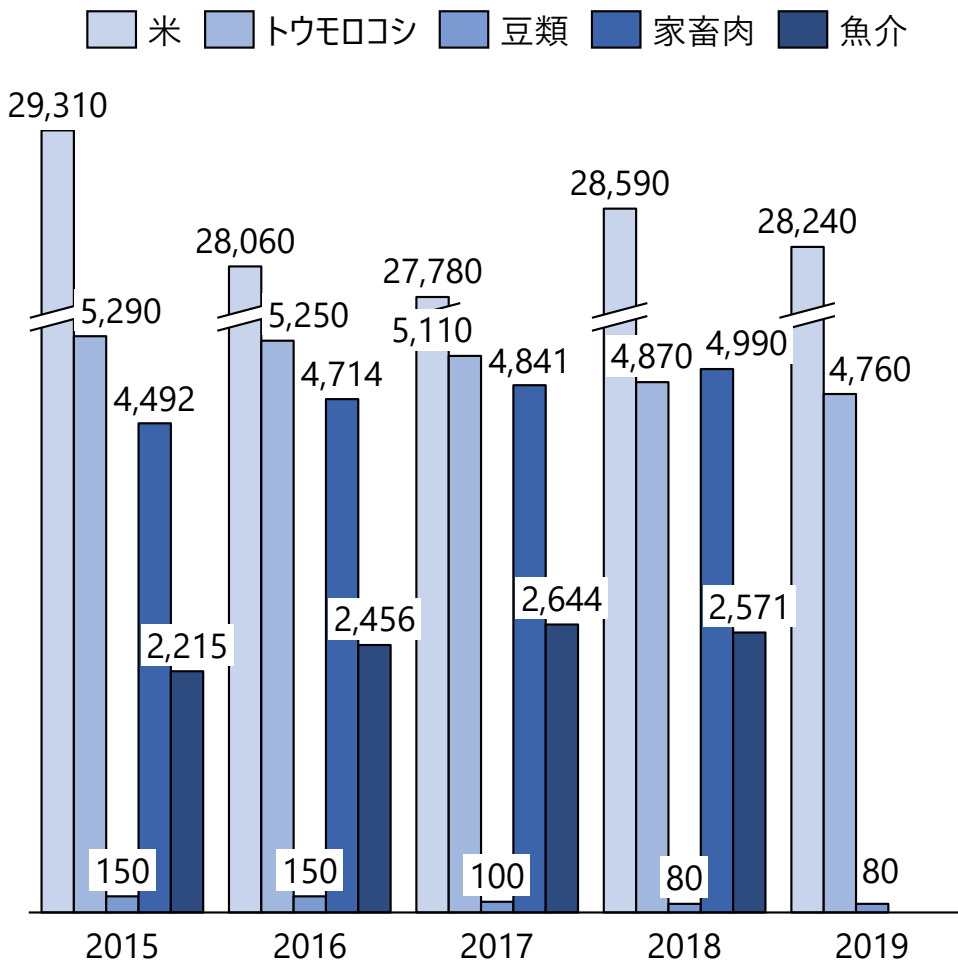
#### 輸出量の増加 ↑

- エビ養殖は、インド、インドネシア、タイなど、他国がコロナ感染で苦しむ中、輸出拡大に成功
- EUとの自由貿易協定の活用によりコメ輸出に活路

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.2 主要な農産物の生産量

**生産量| COVID-19の影響にも拘わらず、農業部門は前年比を上回る成長率を達成する見込み**  
ベトナム中部の大規模洪水の影響により農作物は壊滅、農家にさらに打撃を与え復旧困難な状況へ

主要農林水産物の生産量推移, 2015-2019 (千トン)



### 主なトレンド／特性

#### 農作物生産の傾向

- 世界第5位の米の生産国、耕地が国土の82%を占める
- 約1,500万人以上が農家にて生計を立てている為、国の緊急事態や市場の需要変動に敏感に反応
- 2019年からの深刻な干ばつと塩害被害により、米の生産量が激減

#### 家畜産業の傾向

- 家畜産業は、最も急成長を遂げる産業の一つ
- 生産量として豚肉（73%）が最も盛ん。鶏肉（19%）、牛肉（6%）
- 近年のアフリカ豚熱（ASF）の影響により生産量が激減

#### 水産養殖技術の発展

- 近年の養殖技術の発達により、養殖での生産量が海洋魚を上回る
- 中でも養殖淡水魚は年間養殖生産量の約90%以上
- 主に、養殖エビ、パンガシウス、ティラピアを養殖

### COVID-19による影響

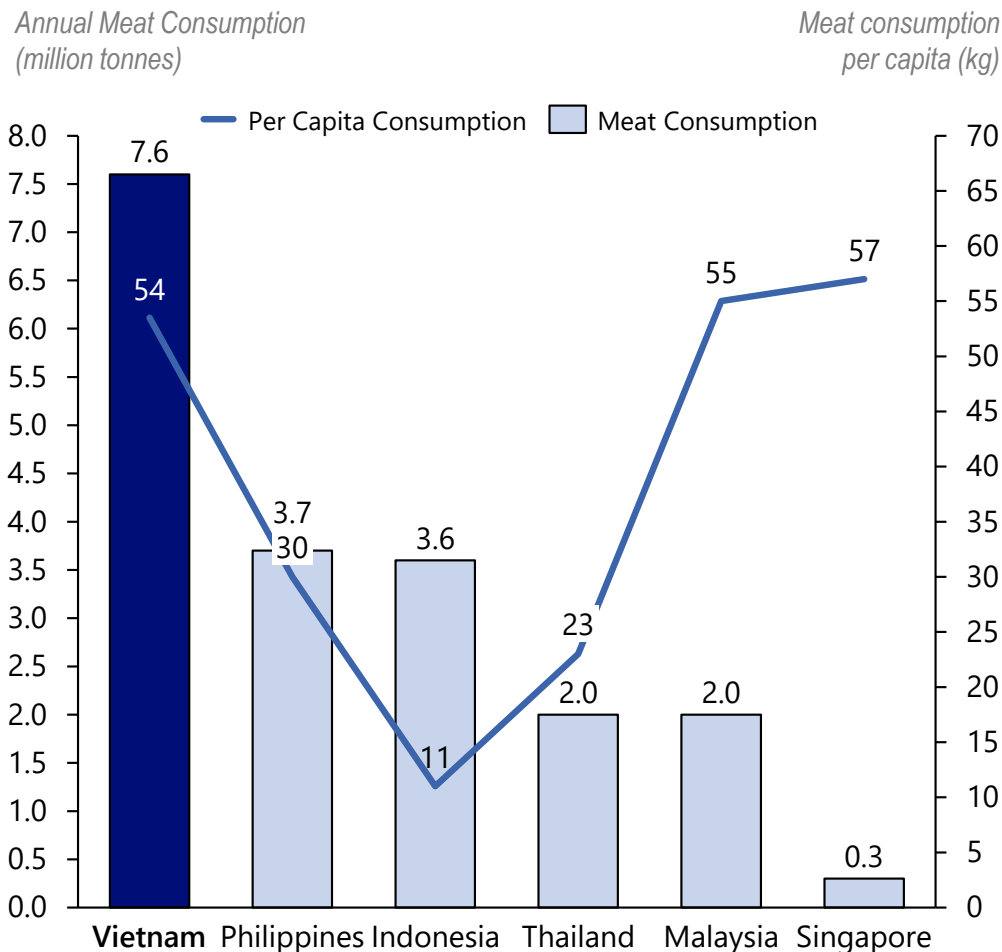
#### 生産量の減少

- COVID-19の影響から家畜肉、作物全般の生産量が減少
- COVID-19の影響下において、農業部門は前年比を上回る年間成長率を達成する見込み
- ベトナム中部の大規模洪水の影響により農作物は壊滅、農家にさらに打撃を与え復旧困難な状況へ
- 2020年の水産品の生産量が前年比1.9%増の840万トンを達成

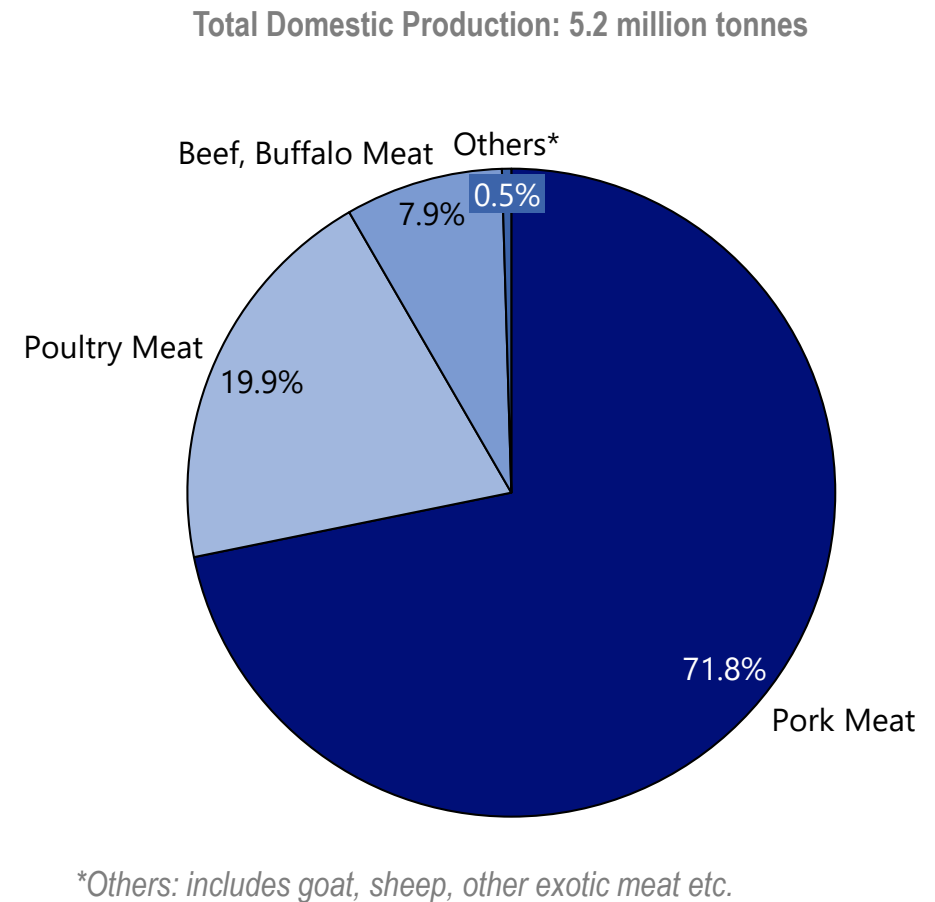
## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.2 主要な農産物の生産量

参考) ベトナムは肉消費大国であり、うち豚が7割超を占めている  
昨今の豚肉の供給不足は国内市場の大きな混乱を招いている

ASEAN主要国における食肉消費量（2017年）



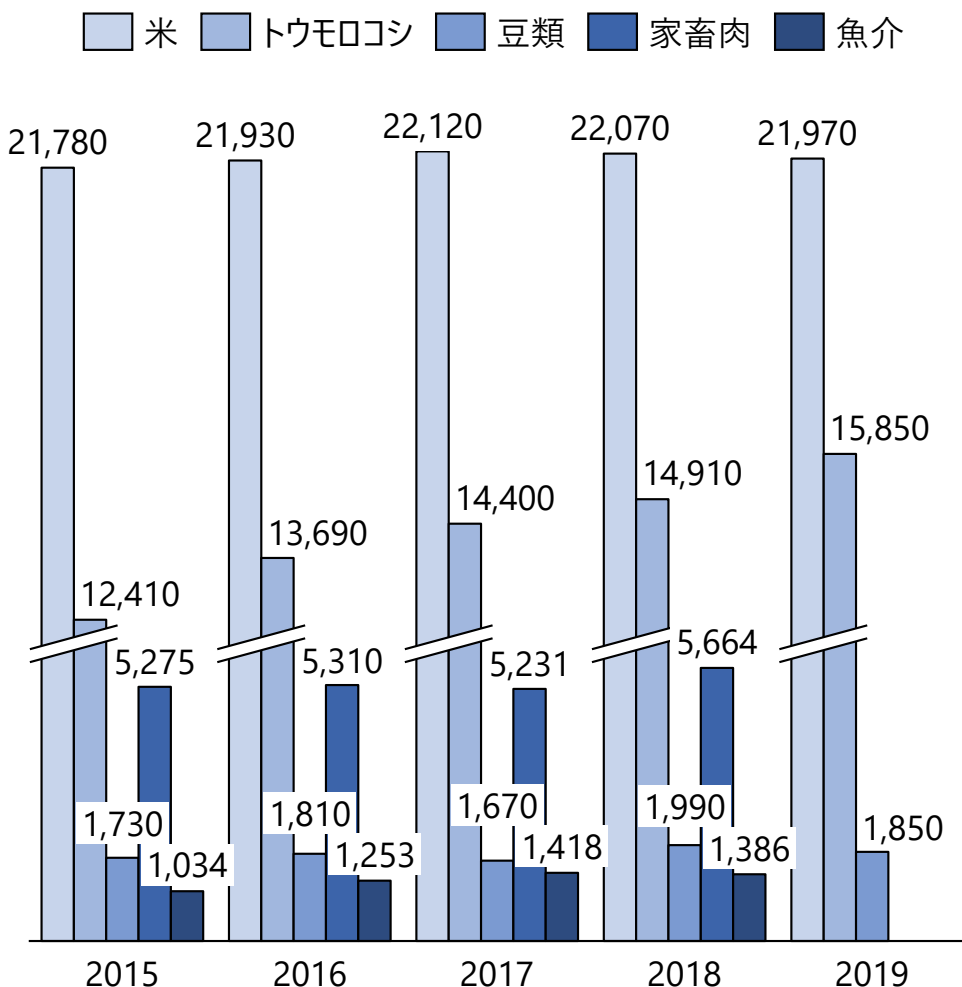
ベトナムの家畜製品内訳（2017年度）



## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.3 主要な農産物の消費量

消費量|国民の食への安全性意識から国産品の志向傾向ヘシフト。国内の豚肉価格が継続的上昇  
テト（旧正月）期間中の果物の輸入量を大幅削減へ、一方でコスト高により取引価格は上昇傾向

### 主要農林水産物の消費量推移, 2015-2019（千トン）



### 主なトレンド／特性

#### 農作物消費の傾向

- 主食である米の消費量が最多
- 家畜の飼料としての需要がトウモロコシの消費を促進
- 降雨量で農作物が被害を受け価格が上昇、豆類の消費量が減少

#### 肉の消費量増加

- 一人当たりの肉の消費量は年間33kg／人他国と比較し低い（参考：米国107kg／人、EU76kg／人）
- 近年の外資系外食チェーンの進出により、国民の食生活が変化し、肉の消費量が増加

#### 消費者支出の増加

- シーフードの消費者支出の伸びは、他のセグメントを上回る予想
- 消費者は安価な川魚よりも高価な海水魚を選好（一人当たり支出は2024年に33.4米ドルから48.8米ドルに達する見込み）

### COVID-19による影響

#### 供給減

- 野菜や果物などの生鮮食品の主をタイや中国の輸入に依存していたが、物流ネットワークの遮断により、供給がストップ

#### 国産品消費の増加

- 国民の食への安全性意識から国産品志向傾向が顕著に
- 海外からの冷凍豚肉より生鮮豚肉を好む消費者の傾向から、COVID-19の動物への感染も懸念される中、豚生体の輸入を開始
- しかし、国民の国産豚肉・生鮮豚肉を好む傾向から豚肉価格が継続的に上昇する見通し

#### 価格高騰化

- テト（旧正月）期間中の果物の輸入量を大幅削減へ、一方で国際線の不足等のコスト高により取引価格は上昇傾向

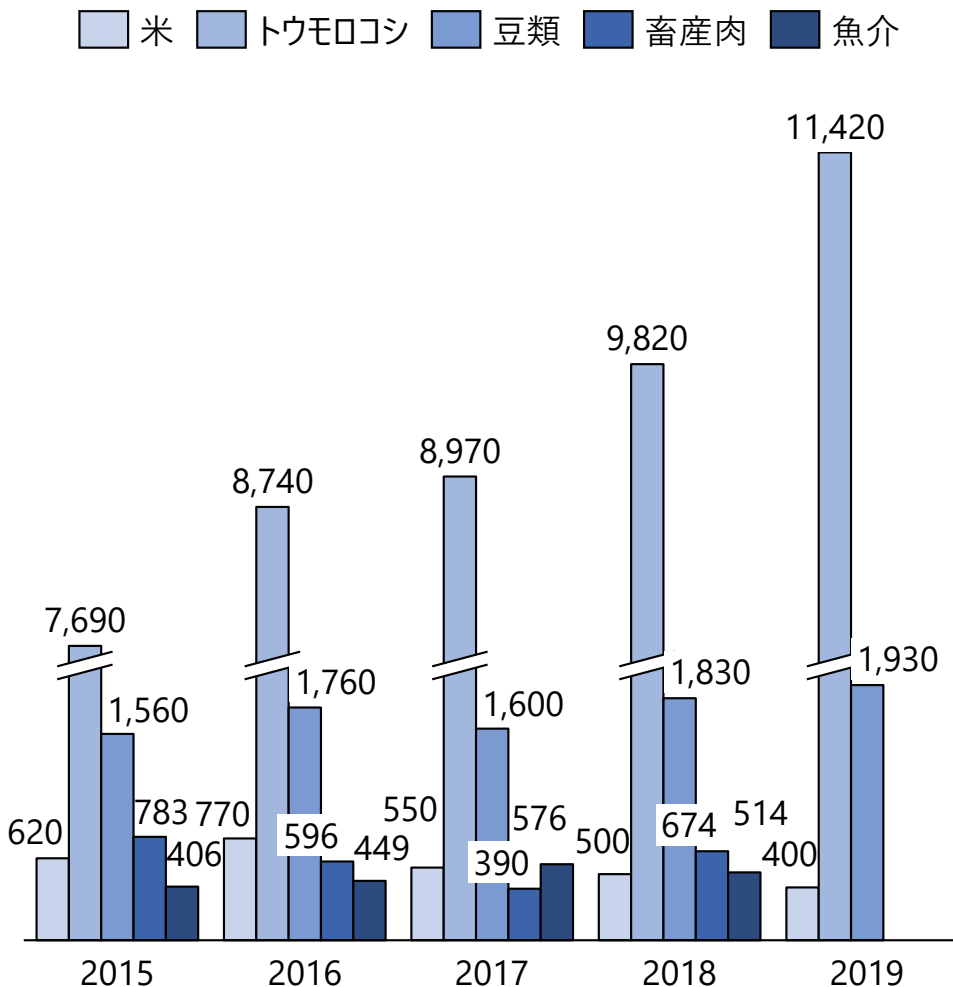
#### 需要減

- 需要量の低下によりサーモンとニジマス農家は経営の危機へ

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.4 主要な農産物の輸入量

**輸入量| 国内のアフリカ豚熱（ASF）の発生により豚肉、牛肉などの輸入量が過去最高を記録**  
**COVID-19の影響により水産加工原料が調達困難へ。2020年12月21日より食品輸入規制を強化**

### 主要農林水産物の輸入量推移, 2015-2019（千トン）



### 主なトレンド／特性

#### 主要輸入元

- 米：韓国、中国、タイ（2019）
- トウモロコシ：タイ、インド、中国（2019）
- 豆：米国、ブラジル、カナダ（2019）
- 肉：中国、米国、ロシア（2019）
- 魚介類：中国、アラブ首長国連邦、タイ（2019）

#### 農作物輸入の傾向

- 世界最大のトウモロコシ輸入国の一つ
- アフリカ豚熱(ASF)の発生により、トウモロコシ等の畜産用飼料の需要減

#### 家畜肉の動向

- 国内のアフリカ豚熱（ASF）の発生により、カナダ、ポーランド等からの豚肉／牛肉／鶏肉の輸入量が過去最高を記録（約200%増）

#### 水産加工の発展

- 輸出を目的とした水産加工産業が急速に発展
- 40の国と地域から水産加工原料用のエビ、ナマズを輸入

### COVID-19による影響

#### 中国との貿易の鈍化

- 農作物用原材料約30%を中国からの輸入に頼っていたが、ロックダウンによるサプライチェーン遮断により、原材料の調達が困難
- 原材料から完成品まで輸入品全体が縮小
- 四半期の野菜と果物の輸入量は、2億9,400万ドル（前年比29.8%）減少。タイからの輸入は90%減、中国からの輸入は27.7%減

#### 輸入規制強化

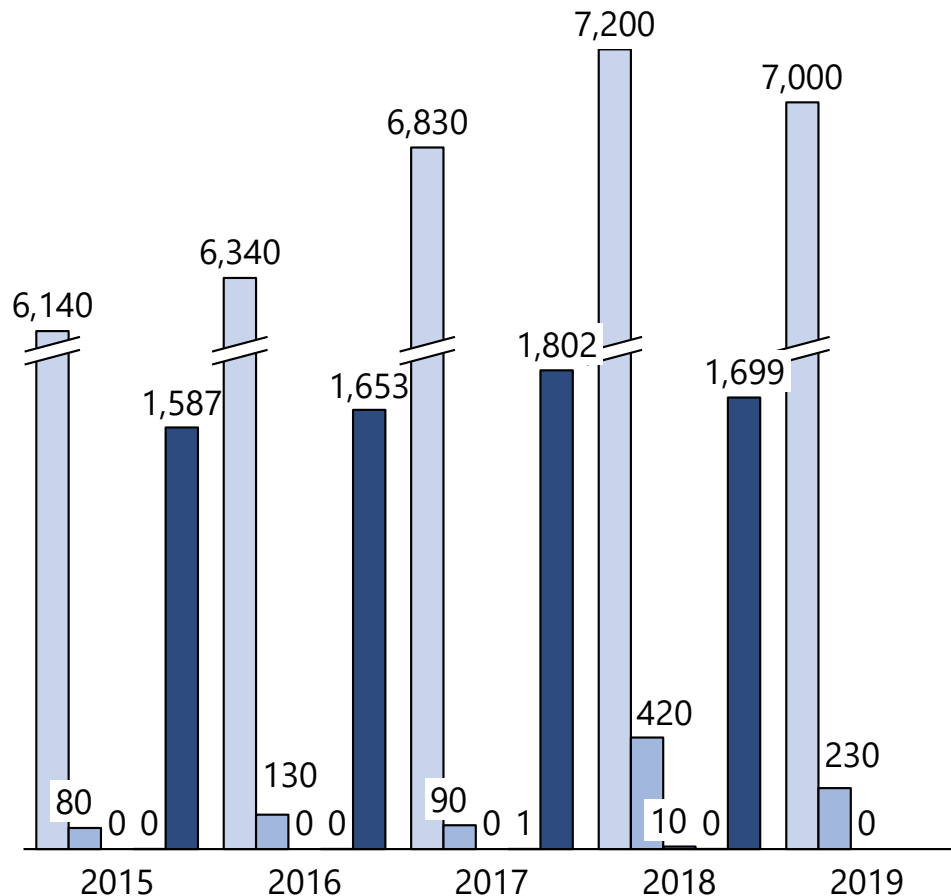
- 2020年12月21日より食品輸入規制を強化

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.5 主要な農産物の輸出入

**輸出入** | COVID-19の影響によりライバル国の輸出入量が減少。唯一ベトナムは、2020年1月～9月の農林水産品輸出入額が305億ドルと前年比1.6%増。2020年の農林水産品輸出入の8品目が10億ドル超

### 主要農林水産品の輸出入推移, 2015-2019 (千トン)

米 トウモロコシ 豆類 家畜肉 魚介



### 主なトレンド／特性

#### 主要輸先

- 米：中国、インドネシア、フィリピン（2019）
- トウモロコシ：フィリピン（2019）
- 豆：ドイツ、インド、カナダ（2018）
- 肉：香港、マレーシア、米国（2018）
- 魚介類：日本、米国、韓国（2019）

#### 輸出の傾向

#### 国内需要向け 家畜肉

- 米の輸出入量は、タイ、インド、中国を相手に第3位を維持

#### 水産加工品 の輸出

- パンガシウス、マグロ、エビ、海洋魚を始めとした水産加工品の輸出入大国

### COVID-19による影響

#### 輸出入量の 増加

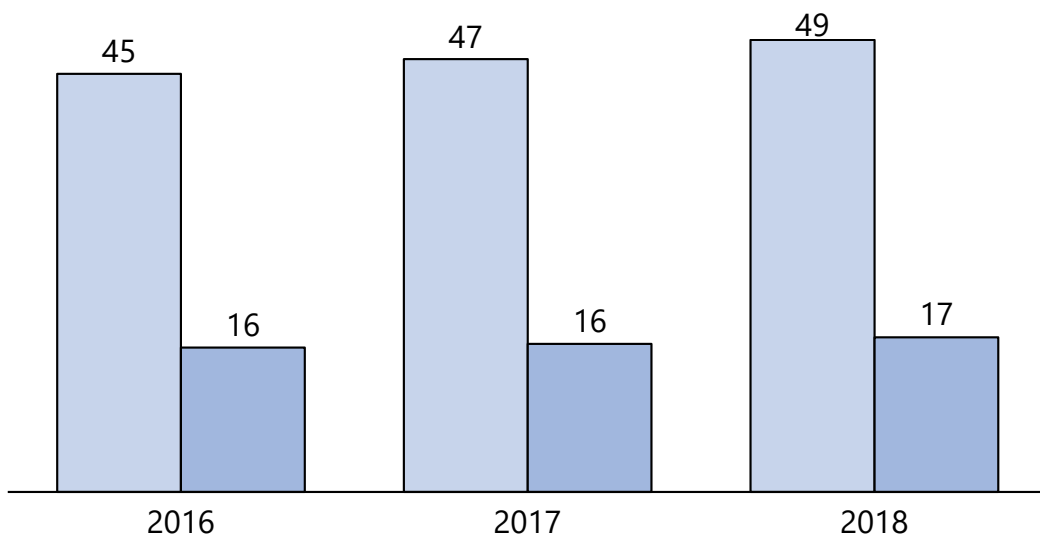
- インド、エクアドル、インドネシア、タイなどのエビ養殖関係者がコロナ感染で苦しむ中、国内の感染者を抑制に成功し輸出入全体は好調に推移
- EUとの自由貿易協定（EVFTA）活用によりコメ輸出入に活路
- 2020年の1月～9月の農林水産品輸出入額は305億ドルに達し、前年同時期比1.6%の増加（輸出入総額の約15%）
- 2021年のエビ輸出入が15%増の40億ドル予測
- 2020年の農林水産品輸出入のうち8品目が10億ドル超。国産米が過去最高値となり国内供給が不足、インド米を初輸入開始。ベトナム産果物・野菜類の輸出入金額が2020年より減額。家畜飼料の輸出入が2020年は17%増。ベトナム産マグロ輸出入への回復は来年以降と予測

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.6 加工食品、冷凍食品、有機食品の生産量、消費量

加工食品、冷凍食品の生産と消費| エビやナマズの養殖加工や冷凍製品など需要の高まりから生産量と消費量共に拡大。有機食品の主は有機牛乳などの乳製品が主流

### 加工食品、冷凍食品の生産（千トン）

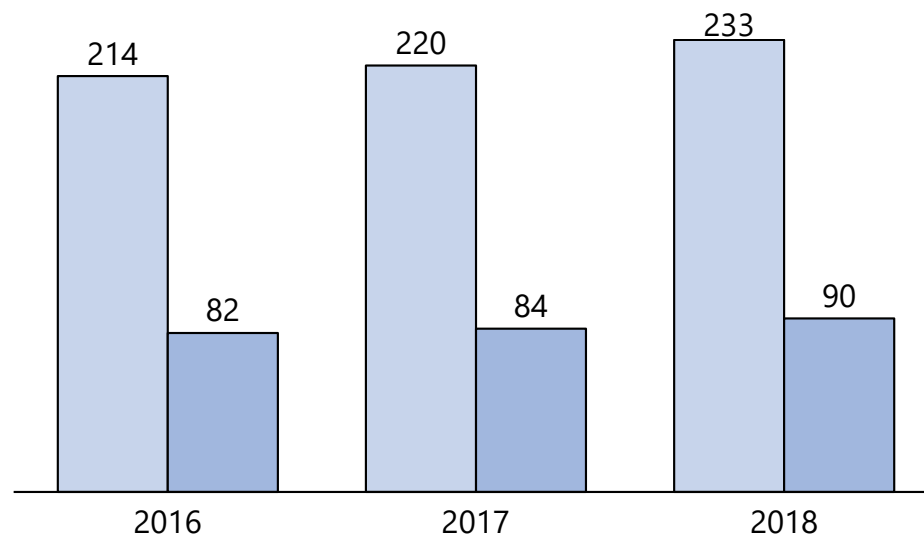
■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



- 全食品カテゴリで消費が増加
- ベトナムのエビ養殖企業は、COVID-19の発生後数か月は生産量が減少
- インド、エクアドル、インドネシア、タイなど他国のエビ養殖関係者がコロナ感染で苦しむ中、国内の感染者を抑制に成功し輸出全体は好調に推移

### 加工食品、冷凍食品の消費（百万ドル）

■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



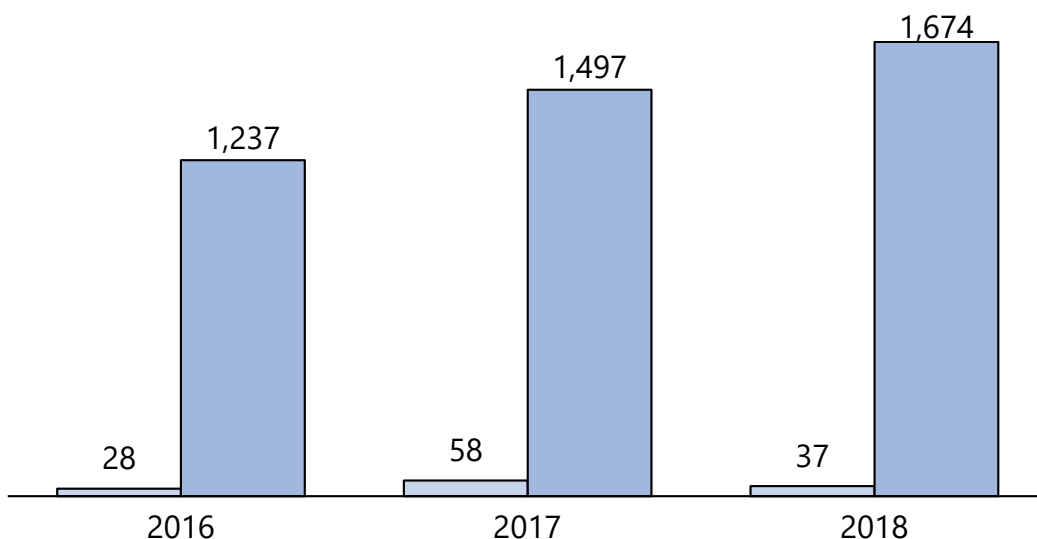
- 電力網と冷凍設備の普及により、都市部から農村部まで冷凍食品が提供できるようになり、その市場は拡大
- オーガニック食品の流通は非常に限られており、その主な割合は有機牛乳乳製品企業：Vinamilk、TH True Milk、Friesland Campina Vietnam等
- 保存が利く加工食品や冷凍食品の需要が急増

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.7 加工食品、冷凍食品の輸入量、輸出量

### 加工食品、冷凍食品の輸出入| サプライチェーンの混乱により原材料の調達が一時的に困難に 他国が感染拡大に苦しむ中、国内の感染者の抑制に成功し輸出全体が好調に推移

#### 加工食品、冷凍食品の輸入（百万ドル）

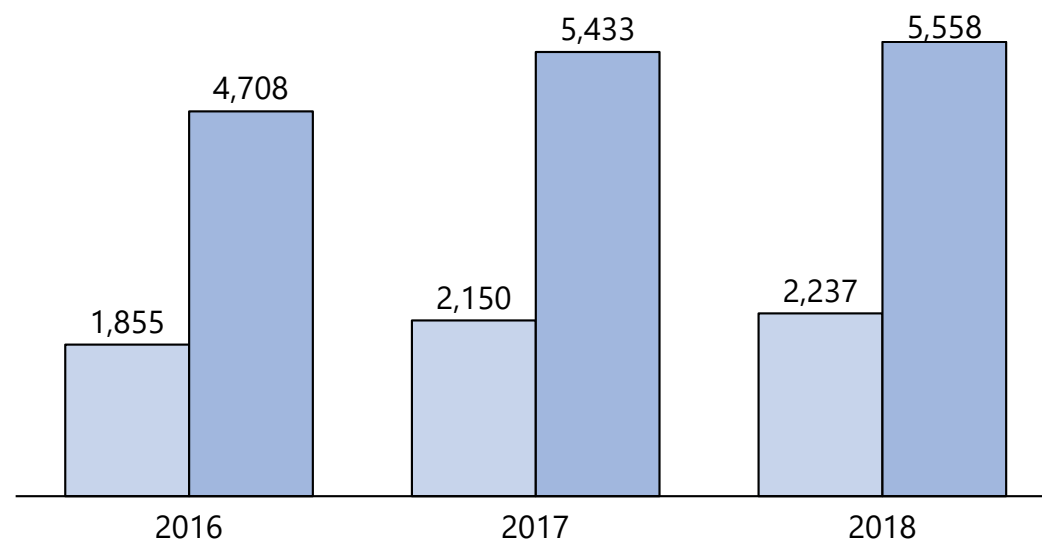
■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし



- 冷凍牛肉、豚肉、鶏肉の輸入は、ベトナムの豊かさの高まりに伴い、ここ数年で大幅に増加
- 輸出を目的とした水産加工産業が急速に発展し、40の国と地域から加工原料用のエビ、ナマズを輸入
- 農作物用原材料約30%を中国からの輸入に頼っていたが、サプライチェーン混乱により原材料の調達が困難に

#### 加工食品、冷凍食品の輸出（百万ドル）

■ 加工食品 ■ 冷凍食品 \*有機食品のデータなし

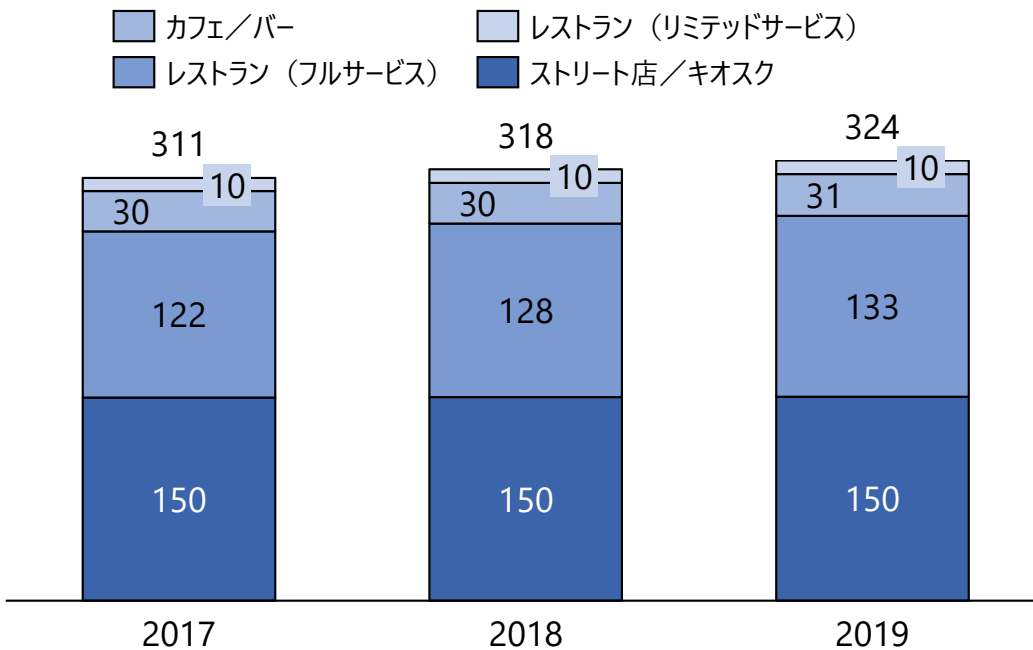


- エビや冷凍魚の切り身の輸出が好調に推移
- 加工魚は加工食品輸入の成長ドライバー
- エビ養殖企業は、COVID-19の発生後数か月は輸出量の減少に直面
- インド、エクアドル、インドネシア、タイなど他国のエビ養殖関係者がコロナ感染で苦しむ中、国内の感染者を抑制に成功し輸出全体は好調に推移

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.8 小売・レストランの店舗数、売上高

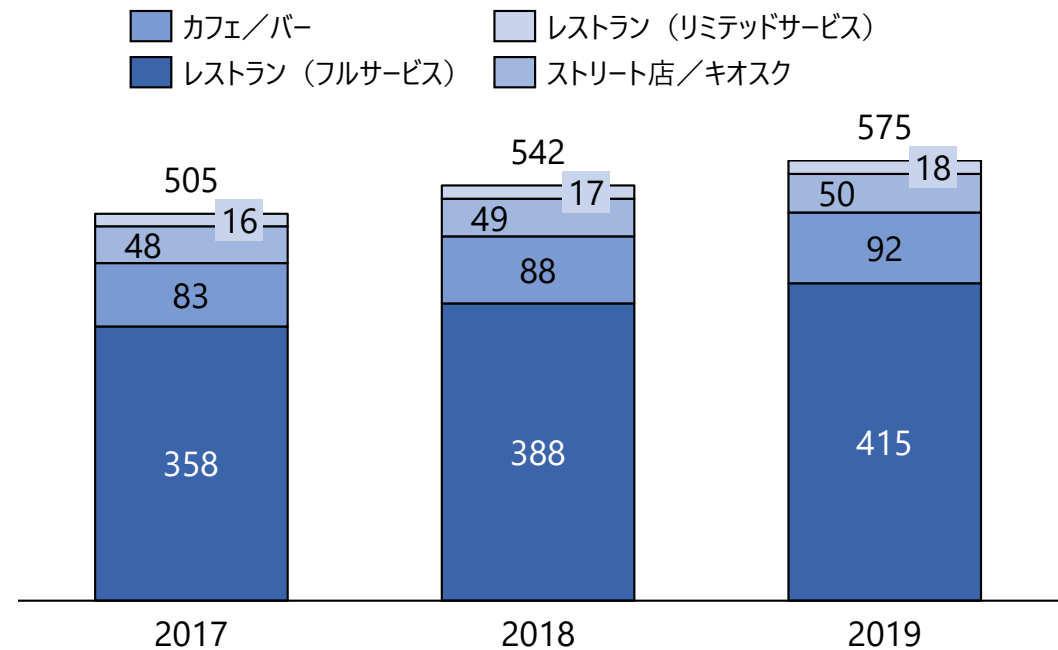
小売・レストランの店舗数・売上| COVID-19によるロックダウンや外出規制がF&B業界に大打撃  
閉店に追込まれるレストラン多発。店舗の多くはオンラインやデリバリーサービス等へシフトさせ売上を維持

小売・レストランの店舗数（'000 units）



- レストランの店舗形式として、屋台、キオスクタイプとレストランが最多
- ベトナムの日本食レストラン数は、年々増加傾向  
2017年: 650店舗、2018年: 1,075店舗、2019年: 1,500店舗)
- COVID-19によるロックダウンや外出規制がF&B業界に大打撃  
閉店に追い込まれるレストラン多発

小売・レストランの売上高（'000 VND billion）

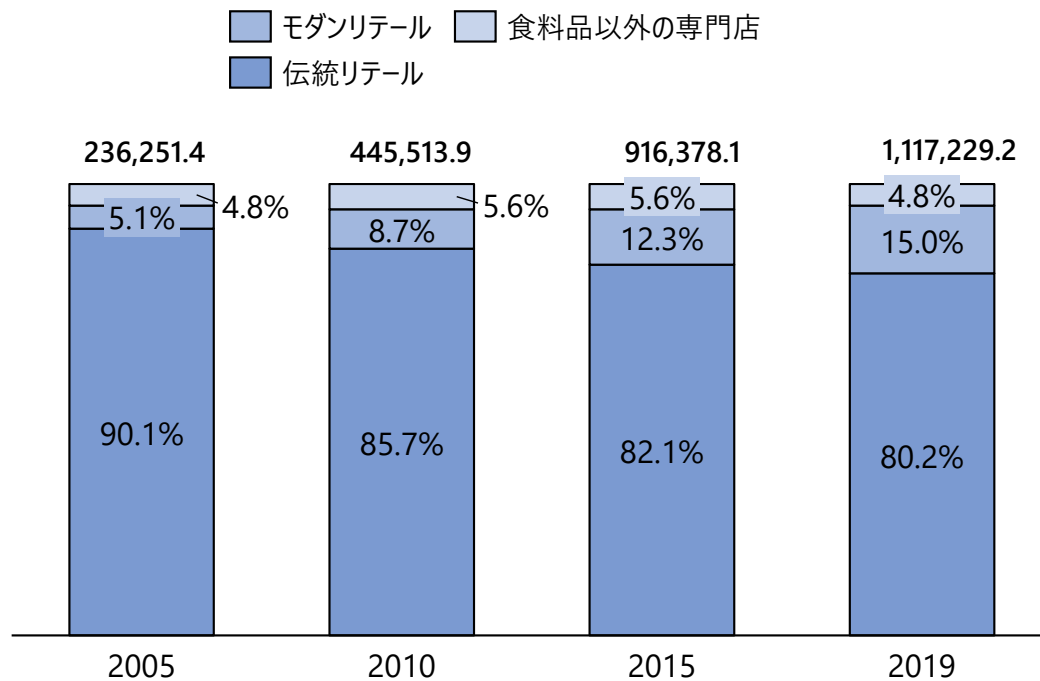


- 客単価の高いカフェ／バーやフルサービスレストランの店舗数拡大により、レストラン産業全体の売上高が拡大
- 顧客単価の高いレストランの売上シェアが8割以上
- 営業規制により7月までの食品・外食産業の売上は281兆ドン（121億米ドル）と前年比16.6%減
- 一方で、オンラインやデリバリーサービスなどから売上を維持する店舗も多数

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.9 包装食品の販売チャネル割合、外食サービスの利用チャネル割合

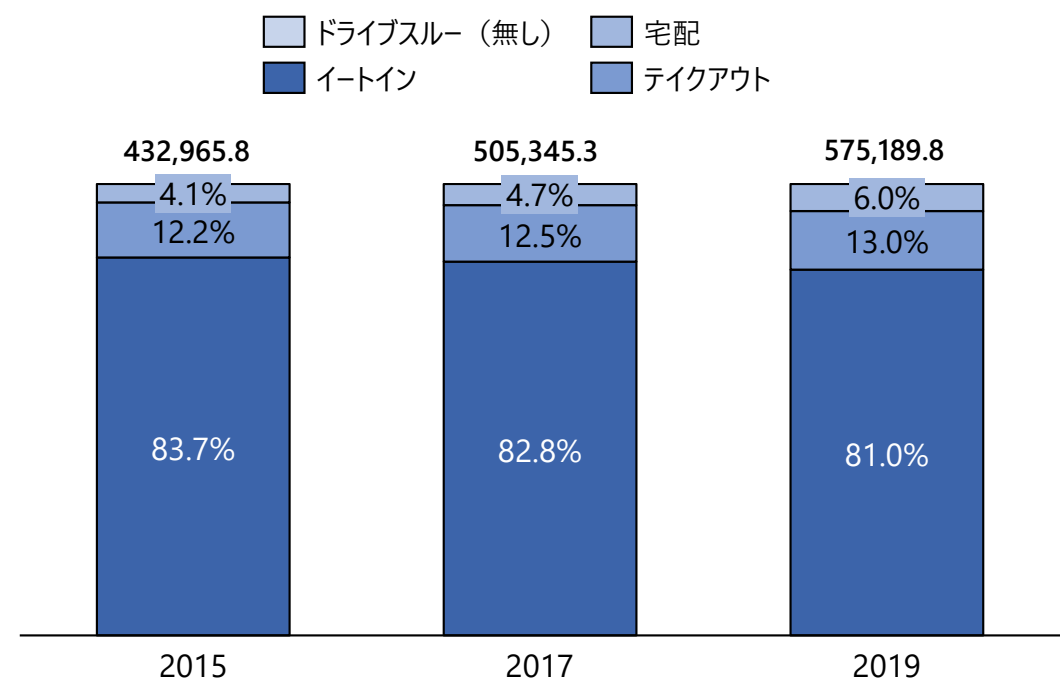
**包装食品| COVID-19により包装食品、乳製品等が成長。イベント等の減少から飲料の販売量が減少**  
**外食サービス| ロックダウンや外出自粛は、主に都心部に出店する高級層向け飲食店に影響拡大**

### 包装食品の販売チャネル割合



- ・ 伝統リテールが約80%以上
- ・ モダンリテールの割合が年々増加傾向
- ・ COVID-19により、包装食品、乳製品、パーソナルケアのカテゴリーは成長
- ・ パーティーやイベントの減少から飲料の販売量が減少

### 外食サービスの利用チャネル割合



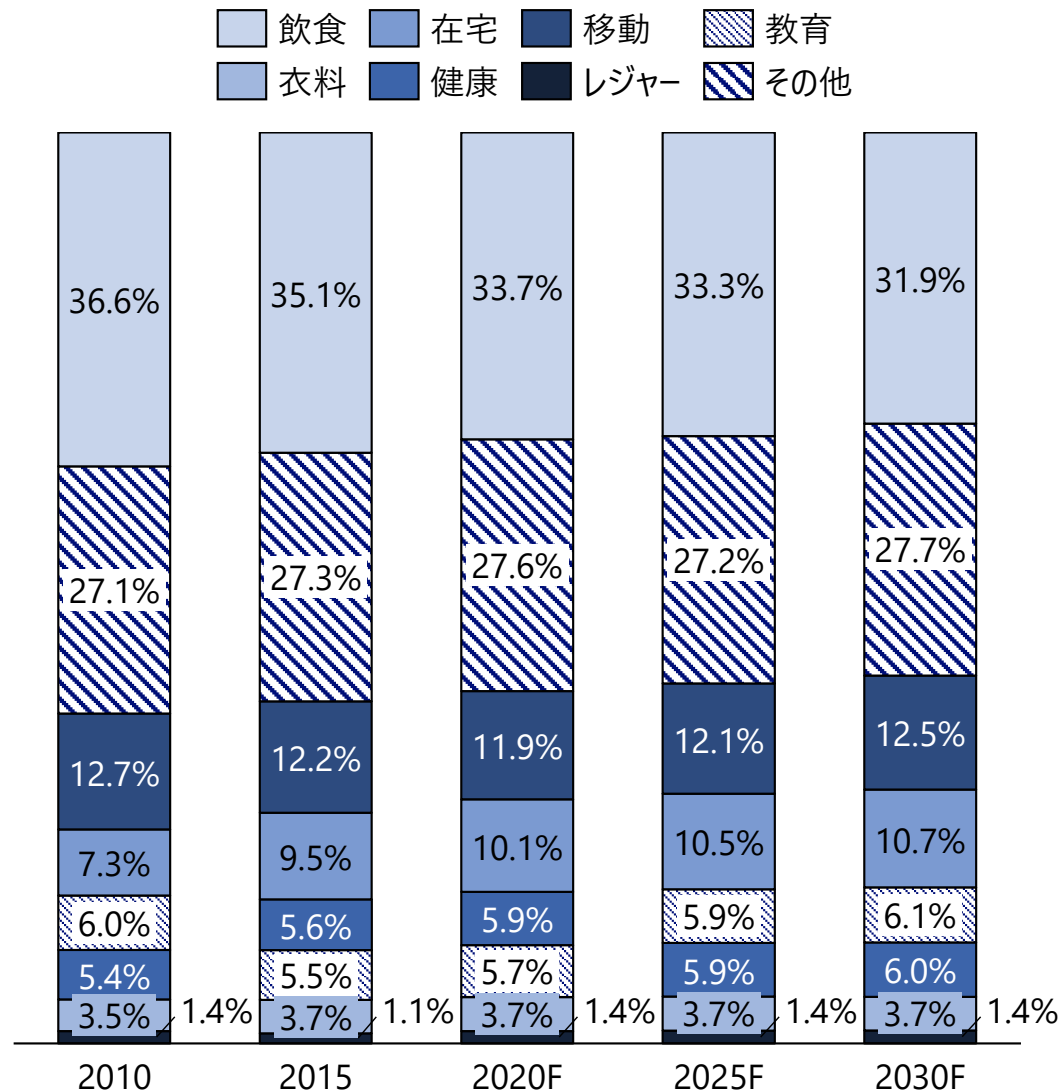
- ・ 宅配とテイクアウトの増加により、イートインの割合が減少傾向
- ・ オンラインやデリバリーサービスなどから売上を維持する店舗も多数
- ・ ロックダウンや外出自粛の影響は、主に都心部に出店する飲食店（特に高級層向け）

## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.10 包装食品の販売チャネル割合、外食サービスの利用チャネル割合

消費者支出内訳| 健康意識を高め、食の安全性や質からオーガニック食品などの需要を後押し  
消費者の買い溜め等から爆発的に伸びていた日用消費財支出が一服

消費者支出内訳 (百万ドル)

主要な消費者トレンド



- 中間所得者層の増加により、健康に関心が高まり、ベトナムの主要な乳製品生産者もナッツミルク製品の拡充に注力
- Vinmart + や Saigon Co.op など地場の小売業者が強く、また同業同士による M&A など大規模な拡張計画を行っている。結果、外資の小売業者は国内で成長することが困難
- B2C および C2C の e コマースチャネルの利用率は年々増加傾向にあり、ローカルプレイヤーとして Tiki や Sendo や、グローバルプレイヤーの Lazada や Shopee など市場に存在
- 国内のスマートフォンの普及率が、2017 年の 31 % から 2023 年には 45 % に増加予測。特に農村地域での携帯電話への支出が増える見込み
- アクティブなソーシャルメディアの普及率は 64 %。中でも、Facebook のユーザー数は世界で 7 位の 4,530 万人（2019 年 7 月）
- COVID-19 は消費者の食への健康意識を高め、食の安全性や質からオーガニック食品などの需要を後押し
- また支出割合では、オンラインショッピングに費やされる支出が拡大
- レジャーや外食などは減少する見込み
- ベトナムの電子商取引収入は、第 4 四半期に 120 億米ドルに達する企業の 24 % が収益の 51 % 以上増加
- 新型コロナウイルスの影響を受けて爆発的に伸びていたベトナムの日用消費財（FMCG）支出が一服

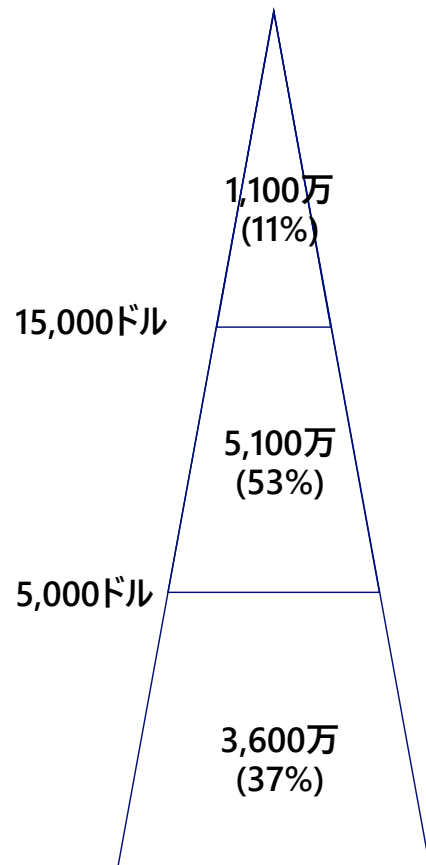
## 2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し 2.11 所得別の消費者マインド

### 消費者マインド| 富裕層や中間層は食品デリバリーの利用が広まる

ロックダウンによる雇用と収入の低下から、低所得者向けに米や現金支援を地方自治体が実施

#### 所得別の消費者マインド

年間所得別人口ピラミッド  
(実質価格)



#### 消費者マインド

- 高所得格差の広がり
- 健康意識が高く、栄養強化食品、栄養補助食品などへの関心が高い

- 中間所得層の増加
- 所有意識が薄く、経験を優先
- プレミアム料金を支払うことを躊躇しない

- 手頃な価格を好む
- 世帯規模が大きく、低い教育水準により低所得
- 都心より遠隔地に居住

#### COVID-19の影響

- 高級所得層は、フードデリバリーやケータリングサービスを好んで利用
- 免疫力が向上する食品（乳製品など）好んで購入

- ロックダウンによりフードデリバリーの利用増加
- 制限緩和後も、人混みを避けるため自宅で食事をする傾向が根強く残る
- 継続的にフードデリバリーアプリを好んで利用

- 雇用と収入の低下から、消費は必要不可欠な食料品を中心に購入
- 地方自治体は、約2,200万人の低所得者に対して米の支給や現金支援を実施

\*Note: 15歳以上の所得別人口を使用 (0-14歳の人口を除く)

Source: Euromonitor、ニュース記事、NRI Analysis

## ベトナム

1. はじめに
2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題

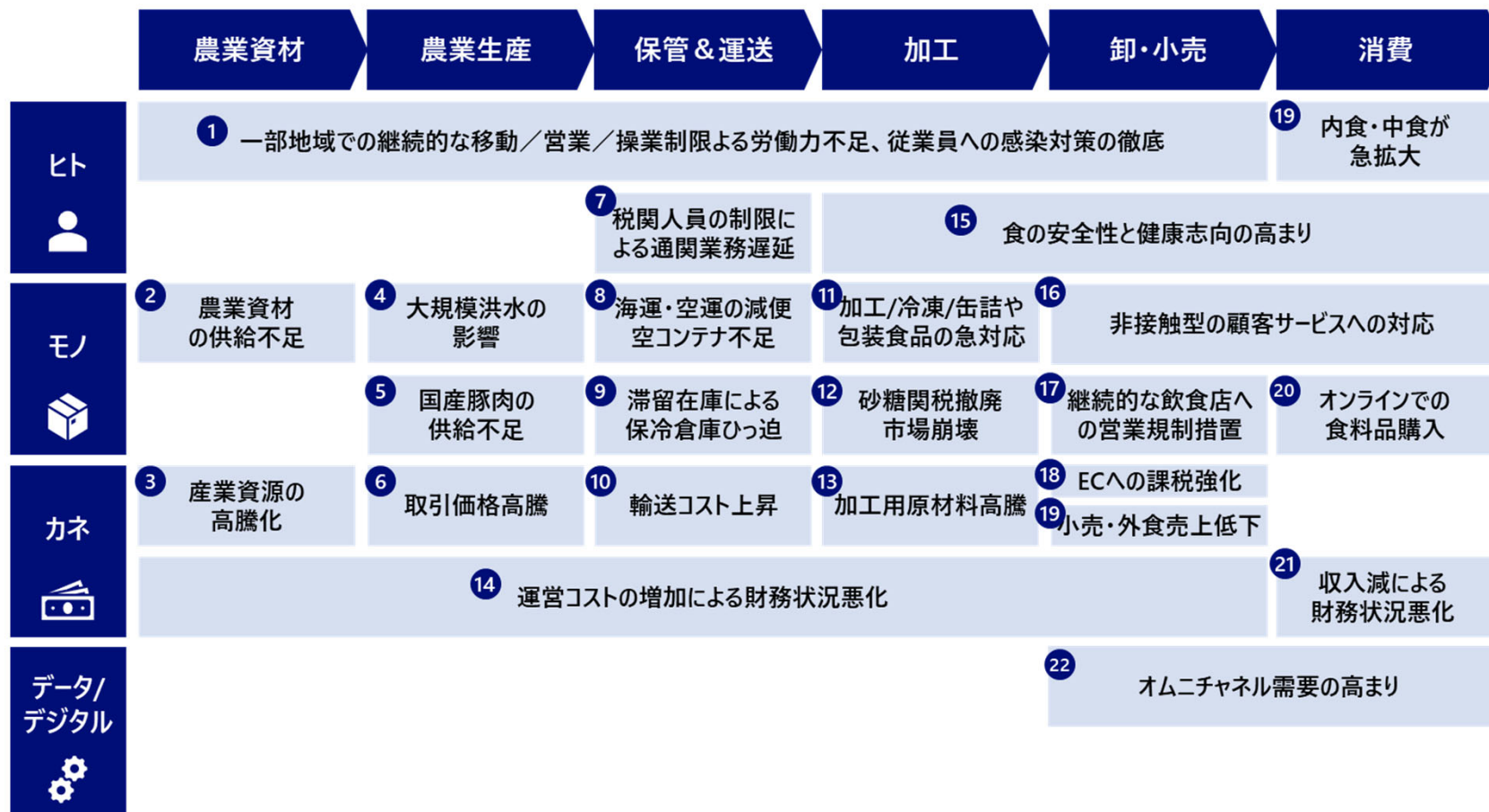
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説
7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告
8. 事業構想案

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.1 ベトナムにおけるFVC上の課題サマリ

#### 3.1 ベトナムにおけるFVC上の課題サマリ

- ロックダウンの発令から、農業資材業者が営業停止。農業資材の多くを中国からの輸入に頼っていたため一時生産に影響が生じた。生産では、米の禁輸措置や主要輸出先である中国との国境閉鎖により、農作物の輸出が激減し国内が供給過剰。輸送では、船会社の減便の中、輸出が急増しコンテナと輸送機器不足が深刻化。安全対策により入港・通関業務が遅延。輸送料金は高騰。食品加工においては、保存型の加工食品（冷凍食品や缶詰製品）の需要が急増。農家はスマートフォンからFacebook等のオンラインのマーケットプレイスを介し農作物の販売開始。消費者は、食品の安全性意識が高まり、スーパーマーケット等の利用が増加した。

#### COVID-19の影響により顕在化・加速が進んだベトナムにおけるFVC上の課題

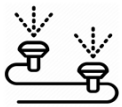


### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.2 農業資材

ロックダウンの発令から、農業資材業者が営業停止。また、種子や肥料など農業資材の多くを中国からの輸入に頼っていたため、一時生産に影響が生じた



#### 農業資材への影響

| テーマ                                                                                        | 影響                    | 内容                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>種子     | 供給が一時停止<br>輸送コストも上昇   | <ul style="list-style-type: none"><li>ロックダウンの発令により、農業資材業者が営業停止。供給が止まり一時混乱が発生</li><li>特に海外からの新規輸出受注に悪影響を及ぼした</li><li>特に空輸の花／観賞用植物の種子などは輸送コストが上昇し価格に影響を及ぼした</li></ul> |
| <br>肥料    | 中国からの供給が停止<br>価格が一時急騰 | <ul style="list-style-type: none"><li>肥料は中国からの輸入に依存する為、物流や検疫の滞りが一時ストップ。政府は、ロックダウン中も特別措置により肥料工場の稼働を許可し対応</li><li>ベトナム全土で肥料価格が一時急騰</li></ul>                          |
| <br>農薬   | 中国からの供給が停止<br>農薬需要が減少 | <ul style="list-style-type: none"><li>農薬の多くは中国からの輸入に依存していたため国内の在庫が不足に</li><li>一方で、農作物の生産減により、農薬の需要も減少</li></ul>                                                     |
| <br>農業機械 | 買替えの見送り               | <ul style="list-style-type: none"><li>農作物の需要・生産量低下により農家の資金繰りが悪化、農業機械の買替えや新規購入を見送り</li><li>COVID-19の教訓から、農業の機械化・デジタル化を更に促進させる農家も一部では存在</li></ul>                     |
| <br>灌漑   | 塩害被害に続き<br>農家の収入低下    | <ul style="list-style-type: none"><li>南部地域では2019年から塩害被害が拡大し打撃を受けた農家の収入が低下、新型コロナによる経済低迷が追い打ちをかける</li><li>農業開発支援の国際組織等が、灌漑システムの構築を支援</li></ul>                        |

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.3 農業生産

「米の禁輸措置」発令による農家への混乱発生。主要輸出先である中国との国境閉鎖により、農作物の輸出が激減し国内が供給過剰。また、豚肉需要は高いが生産の回復が遅れている



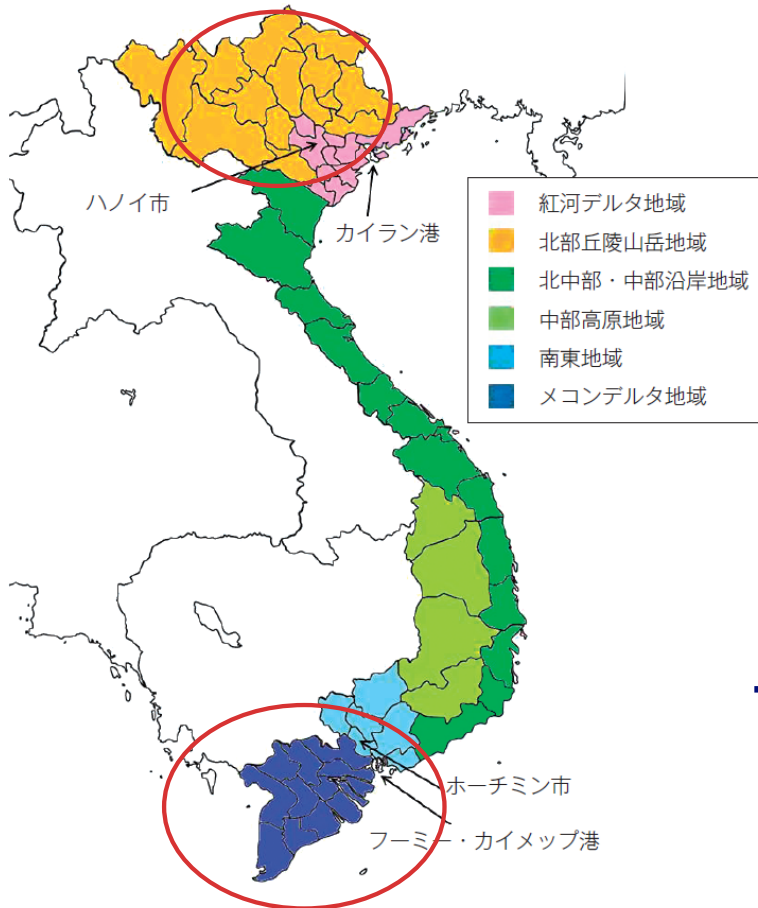
#### 農業生産への影響

| テーマ                                                                                          | 影響                         | 内容                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>米       | 米の禁輸措置により混乱が発生             | <ul style="list-style-type: none"><li>メコンデルタ地域の干ばつと塩水遡上の深刻化により、政府は国内の米の供給量確保のため「米の禁輸措置」を3月24日に発令。しかし、農家と輸出業者を中心に混乱を与える結果となった</li></ul>                 |
| <br>家禽肉      | 豚肉の生産量の回復への遅れ              | <ul style="list-style-type: none"><li>2019年に発生したアフリカ豚熱とCOVID-19の影響から豚肉の生産量の回復が遅れている。</li><li>5月27日より豚生体の輸入を解禁するが、中国からの豚肉需要もあり豚肉価格は継続的に上昇</li></ul>     |
| <br>青果品     | 国境封鎖により青果品など中国向け輸出が激減      | <ul style="list-style-type: none"><li>中国との国境付近、またメコンデルタ地域などで生産される農産物の中国向け輸出が落ち込む</li><li>青果品、水産品、コショウ、ゴムなど、2020年第1四半期の輸出額は前年同期と比べて大幅に減少</li></ul>      |
| <br>トウモロコシ | 家畜飼料産業の生産・販売減でトウモロコシの需要が下落 | <ul style="list-style-type: none"><li>アフリカ豚熱の影響とCOVID-19の影響からトウモロコシなど家畜飼料需要が継続的に落ち込む</li><li>トウモロコシ消費量は、1540万トン（3月時点）から1485万トン（10月）へと、消費量が減少</li></ul> |
| <br>労働者   | 労働力不足による収穫量への影響            | <ul style="list-style-type: none"><li>農場の労働力不足と輸送制限により、生産と供給に影響</li><li>植え付けや収穫時期の遅延から通常の収穫量が確保できない可能性</li></ul>                                       |

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.3 農業生産

中国との国境閉鎖、輸出先の規制等により北部、メコンデルタ地域などの農家に大きな打撃  
販売先となる新たな市場を探すことが農業・水産生産の課題と考えられているが品質の向上が課題

#### ベトナムの地域セグメント



#### Development of New Market for farmers in Vietnam

- ベトナムの主要輸出先は中国である。COVID-19により、中国との国境近辺の北部の農家が最も大きな影響を受けた
- 国境の閉鎖期間は、輸出用の農作物を国内市場に流通させる必要があり、結果供給過多の状況に陥った。この状況は、2021年の第四半期まで継続されると予測している
- ベトナムは、国民の大半が農家であることから、農家の収入維持において、販売先となる新たな市場を継続的に探す必要が長期の課題と考えられているが、グローバル基準の品質に至っていないのが現状

Trade Marketing Director, Local Trading firm



#### 地域性と主要農産物

|            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 紅河デルタ地域    | ：首都ハノイを擁し、主要農産物は米、豚など         |
| 北部丘陵山岳地域   | ：丘陵や山地が多く、主要農産物は茶、コーヒーなど      |
| 北中部・中部沿岸地域 | ：低地では米、高地では茶、コーヒーなど           |
| 中部高原地域     | ：高知が多く、主要農産物は米、野菜、牛乳など        |
| 南東地域       | ：最大都市ホーチミンを擁し主要農作物はゴム、大豆、果樹など |
| メコンデルタ地域   | ：国内最大の米生産地域、その他、果樹、豚肉など       |

### 3. COVID-19により顕在化したFVCの課題 3.3 農業生産

参考) ベルギーとベトナムの両国政府は、長年に渡り現地農家の生産能力と安全な野菜作りから、生活水準の向上を目指す支援を行っている

- ベトナム農家に安全な野菜作りを行う技術を支援することで、野菜に付加価値を付け農家の生活水準と収入向上を同時に目指す
- ベルギーのトコルト協会は、数十年に渡って同取り組みを支援し、国の農業の発展に貢献している。

